

第 60 回 センサ&アクチュエータ技術シンポジウム 最新のロボット技術動向

当協議会 AI WG は、AI 領域におけるセンサの果たす役割、技術動向について調査研究を進めています。今回、AI との融合性が高いロボット技術に関するシンポジウムを企画しました。ロボット技術は、特に知能ロボット、人間型ロボットの分野において日本が世界の研究開発をリードする技術の一つです。すでに、アミューズメント、医療・介護などの用途として実用化されている様々なロボットがありますが、今後産業活動や日常生活のみならず宇宙探査、資源探査のような先端技術の分野においても大きく発展することが期待されています。

本シンポジウムでは、1970 年代に世界最先端の人間型ロボットを開発された早稲田大学・旧加藤一郎研究室の DNA を継承発展されているお二人の先生方にヒューマノイドロボット関連の研究テーマおよび技術動向を語っていただきます。また、オムロンで研究されているロボティクス技術（センシング技術、AI 技術、および FORPHEUS など）および生産現場などで活用されているロボットについて紹介いただきます。プログラム後半には、意見交換のコーナーも設けていますので、関心のある皆さまの参加をお願いします。（企画：大木眞一）

日時：2022 年 3 月 10 日（木） 13:00～17:00 オンライン開催

2022 年 3 月 14 日～2022 年 3 月 28 日 オンデマンド配信

場所：オンライン開催（参加者には、当日午前中までに視聴用 URL をお知らせします。また、資料は事前に URL からダウンロードしていただきます）なお、配信の録画および資料の転送は固くお断りします。

主催：一般社団法人次世代センサ協議会

協賛：一般社団法人電気学会、公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本電気計測器工業会、センシング技術応用研究会、一般財団法人マイクロマシンセンター、一般社団法人日本計量機器工業連合会、特定非営利活動法人安全工学会、MEMS パークコンソーシアム、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、一般社団法人情報処理学会、enPiT-Pro スマートエスイー、センサエキスポジャパン（依頼予定）

参加費：次世代センサ協議会会員 5,000 円、協賛団体会員 10,000 円、一般 16,000 円（消費税込）
学生 無料（ただしレポート提出のこと）

参加定員：オンライン、オンデマンド 100 名

申込方法：お申込みはコチラ▶▶▶ [Web 専用申込フォーム](#)

プログラム

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

13:00～13:05	シンポジウム開催にあたって （一社）次世代センサ協議会 技術委員 前田賢一
13:05-14:05	人間共存ロボットの技術課題 超高齢社会の中、家庭、福祉、医療、産業のあらゆる場面において、自動化・省力化が求められており、人と協調・協働可能な人に優しいロボットのニーズが増大しつつある。しかしその実現には多くの技術課題がある。この講演では、ハードウェアと AI を中心に、人と共存できるロボットの実現可能性を考える。 早稲田大学 理工学術院学術院長 創造理工学部 総合機械工学科 教授 菅野重樹氏
14:10-15:10	2 足ヒューマノイドロボット他の研究テーマ、および海外・日本のロボット研究動向 研究テーマの 2 足ヒューマノイド、医療教育ヒューマノイド、農業ロボットやガス管検査ロボットなどの他、国内外のロボットの研究動向について概要を紹介する 早稲田大学理工学術院 教授 高西淳夫氏
15:15-16:15	OMRON SINIC X が取り組むロボット・センシング・AI 技術 OMRON SINIC X (OSX) は 2018 年に開所した近未来デザイン研究所である。本講演ではこれまでの OSX での研究成果を通じて、ロボットやセンシング技術を取り巻く最新技術について紹介する。 オムロン サイニック エックス 代表取締役社長 諏訪正樹氏
16:20-17:00	意見交換会